

## 資生堂 福原義春名誉会長、弦間明会長、フランス政府より受勲

資生堂名誉会長の福原義春は、長年にわたる日仏間の経済・文化交流への貢献が評価され、4月17日（水）、フランス政府よりフランスの最高勲章『レジオン・ドヌール勲章 グラントフィシエ（勲2等に相当、「Grand Officier de l'Ordre National de la Légion d'Honneur」）』を授与されました。グラントフィシエは、通常、フランス国内外の政官界要人に贈られるもので、日本の民間人が受勲するのは初めてのことです。

また同日、資生堂会長の弦間明は、『フランス国家功労勲章 オフィシエ（勲4等に相当、「Officier de l'Ordre National du Mérite」）』を授与されました。

受勲式は、どちらも4月17日（水）、在日フランス大使館公邸にて行われ、フランス賞勲局総裁ジャン＝フィリップ・ドゥアン将軍より手渡されました。

### フランス国家勲章の概要

レジオン・ドヌール勲章は、1802年にナポレオン・ボナパルトにより創設され、軍人、民間人を問わずフランス国家への功労者に与えられるフランス最高の勲章です。同勲章には5つの等級（勲1等相当＝グランクロワ、勲2等相当＝グラントフィシエ、勲3等相当＝コマンドゥール、勲4等相当＝オフィシエ、勲5等相当＝シュバリエ）があります。本年は、レジオン・ドヌール勲章が創設されて200周年にあたります。

一方、1963年に創設されたフランス国家功労勲章は、レジオン・ドヌール勲章に次ぐ勲章であり、フランス国家への功労者に贈られるものです。レジオン・ドヌール勲章同様、5つの等級があります。

### 受勲の背景

福原義春は1987年より資生堂社長として、経済面、文化面における日仏交流につとめ、その功績から1991年にレジオン・ドヌール勲章 オフィシエ（勲4等相当）を授与されています。1997年には「フランスにおける日本年」実行委員長として、フランス全土で開催される各種民間レベルの日仏交流に対する支援を行うなど、日仏交流活動への功績が評価され、同年、レジオン・ドヌール勲章 コマンドゥール（勲3等相当）を受勲しています。今回のレジオン・ドヌール勲章 グラントフィシエ（勲2等相当）受勲は、資生堂の名誉会長となった後も、日仏クラブ日本側世話人をつとめるなど、継続的な日仏交流の推進が高く評価されたものです。

また弦間明は、1997年より資生堂社長として、フランスにおける化粧品事業を拡大するとともに、フランス第2の工場を稼働させるなど、フランスでの雇用拡大に貢献したことから、今回のフランス国家功労勲章 オフィシエ（勲4等相当）を受勲したものです。

なお当社では本年2月に、資生堂ヨーロッパ社長をつとめた執行役員 国際営業本部海外事業企画部長 長井克之がフランス国家功労勲章 シュバリエ（勲5等相当）を受勲しています。

## ご参考

- 受勲にあたっての福原義春名誉会長あいさつ要旨

今回の叙勲に際し、フランス共和国ジャック・シラク大統領、ジャン・フィリップ＝ドゥアン賞勲局総裁、ならびにモーリス・グルドー＝モンターニュ駐日フランス大使に感謝いたします。

資生堂は、1872年に創業し、本年創立130周年を迎えました。祖父である創業者の福原有信が1900年のパリ万博を訪れたことが、フランスと当社との最初の出会いでした。また伯父である初代社長の福原信三は、パリに1年ほど滞在し、当時のフランスの先進性やアール・ヌーボーの芸術などに触れたことが、その後の資生堂とフランスの密接な関係の礎となりました。

私自身、1978年に外国部長となり、フランスでの事業開始にたずさわったところから、フランスと深い関わりをもつようになりました。私とフランスとの関係は、化粧品事業から始まり、現在では日仏クラブを通じた活動など両国の経済・文化交流に広く関わるほどになりました。こうした活動を続けていくことができたのも、多くのフランスの友人に支えていただいたからだに感謝しております。今回の叙勲を機に、これまで以上に日仏関係の発展に尽力してまいりたいと思います。

- 受勲にあたっての弦間明会長あいさつ要旨

フランス共和国賞勲局総裁 ジャン＝フィリップ・ドゥアン閣下より直々にフランス国家功労勲章をいただき、身にあまる光栄と感激しています。今回の栄誉は、化粧品事業を通じて、日仏間の経済・文化・芸術交流の促進に貢献したことに対して、評価をいただいたものですが、これまで私を支えてくれた多くの皆さまのご支援・ご協力の賜物と感謝しています。

資生堂は、1957年に台湾での販売をかわきりに、本格的に海外での事業を開始しました。ヨーロッパでは、1963年のイタリアが最初の販売国となりました。資生堂は、フランスに大いなる憧れと尊敬の気持ちをもちながら、フランスが化粧品をはじめとするファッション文化の中心であり、少しの失敗も許されないという決意から、1980年になってはじめて念願のフランスでの事業を開始することになりました。以来、現在では、2つの工場を含む9つの子会社を通じて化粧品事業を展開しています。取扱店は950店に達し、従業員も1,000人を超えています。この1,000人を超える従業員たちが、日々日本的な価値観とフランス的な価値観を融合させ、新たな文化を創造しています。資生堂という企業を媒介として、親日派、そして親仏派を生み出しているのです。

こうした異質な文化をもった人と人とのコミュニケーションが、国際交流の本質だと考えております。今後ともフランスと日本の絆をさらに深め、新たな文化創造に貢献できるよう努力していきたいと存じます。

● 福原義春プロフィール

1931年 東京に生まれる  
1953年 慶應義塾大学経済学部卒業、資生堂に入社  
1978年 取締役外国部長  
1987年 第10代資生堂代表取締役社長  
1997年 代表取締役会長  
2001年 名誉会長

(公職)

東京商工会議所 副会頭、日本・東京商工会議所税制委員長、(社)企業メセナ協議会 会長兼理事長、  
(社)日本広告主協会 理事長、東京都写真美術館 館長、日仏クラブ 日本側世話人代表、  
レジオン・ドヌール勲章者会日本支部長、日伊ビジネスグループ 日本側会長、  
(社)園芸文化協会 会長、政府税制調査会 議員、郵政審議会 議員、男女共同参画会議 委員 など

(受勲歴)

1991年 レジオン・ドヌール勲章 オフィシエ受勲  
1993年 パリ市名誉市民賞受勲  
1997年 レジオン・ドヌール勲章 コマンドゥール受勲  
1998年 イタリア グランデ・ウフィチアーレ章受勲

● 弦間明プロフィール

1934年 東京に生まれる  
1959年 早稲田大学商学部卒業、資生堂に入社  
1982年 資生堂コスメティチイタリア社長  
1997年 第11代資生堂代表取締役社長  
2001年 代表取締役会長

● 長井克之プロフィール

1941年 群馬県に生まれる  
1966年 東京外国語大学フランス語学科卒業、資生堂に入社  
1983年 資生堂フランス社取締役副社長  
1997年 国際事業本部ヨーロッパ地域本部長兼資生堂ヨーロッパ取締役社長  
2002年 執行役員 国際営業本部海外事業企画部長

- 資生堂とフランスのかかわり (○=主な資生堂の営み、★=事業開始、●=文化活動、■=受賞)

- 1872年 ○福原有信、東京 銀座に日本初の西洋風調剤薬局「資生堂」を創業
- 1897年 ○資生堂初の化粧品「オイデルミン」を発売
- 1900年 ●福原有信、パリ万国博覧会を見学
- 1913年 ●初代社長福原信三、パリに遊学
- 1957年 ○台湾で販売開始(資生堂初の海外事業)
- 1977年 ●パリの新進デザイナー6人を日本に紹介した「6人のパリ」ファッションショー後援
- 1980年 ★セルジュ・ルトランスをイメージクリエイターに起用、  
★ピエール・ファーブル社と合弁会社「資生堂フランス」を設立、フランスで販売開始
- 1982年 ●パリコレクションでメーカーシップ技術協力開始(以後継続)
- 1984年 ●パリ広告美術館で「日本の広告写真の30年」展に写真・ポスター、計30点を出展
- 1986年 ★カリタ社を買収  
●パリ広告美術館で「資生堂の美と広告 1972~1986」展を開催  
●ポンピドゥーセンターで「前衛芸術の日本 1910~1970」展に出展  
★日本にピエール・ファーブル社と合弁会社「ピエール・ファーブル・ジャポン」社を設立、  
「アベヌ」ブランドの販売を開始
- 1987年 ★パリに「アレクサンドルズアリ パリサロン」をオープン
- 1988年 ★フランスに「ヨーロッパテクノセンター」を設立  
■「バイオパフォーマンス スーパーバイタイザー」がマリ・クレール誌のプリ・デクセランスを受賞
- 1989年 ■「シセイドー・メーカーシップ」がマリ・クレール誌のプリ・デクセランスを受賞
- 1990年 ★香水のマーケティング・販売会社「ボーテ・プレステージ・インターナショナル」社を設立
- 1991年 ●ガリエラ装飾美術館の「ファッションデザイナー達の創造の世界」展に協賛  
●シュリー音楽祭への協賛を開始(以後継続)  
★ジアン工場設立
- 1992年 ★「レ・サロン・デュ・パレロワイヤル・シセイドー」をオープン  
■「オー・デマキアント・ドゥース」がマリ・クレール誌のプリ・デクセランスを受賞  
★サン・ヴィゴール・ド・ミュー礼拝堂(フランス、ノルマンディー地方)の再生を支援
- 1994年 ●カルティエ現代美術館の「福原信三・路草」写真展に協賛
- 1997年 ●「フランスにおける日本年」の一環として、装飾美術館で  
「パリー東京ーパリ、資生堂 1897—1997 ラ・ボーテ」展を開催  
★ヨーロッパ地域本社「資生堂ヨーロッパ」設立
- 1999年 ★「バル・ド・ロワール工場」設立
- 2000年 ★「ラボラトワール・デクレオール」社を買収
- 2001年 ■「資生堂 ザ・スキンケア」がマリ・クレール誌のプリ・デクセランスを受賞
- 2002年 ○創業130周年  
★メーカーシップブランド「ステファン・マレー・ブランド」の直営店をオープン